

## 華 東 師 範 大 学

共 5 頁

2003 年攻读硕士学位研究生入学试题

考试科目: 基础 日语

招生专业: 日本语言文学

## 総合試験

(180分内完成)

問題Ⅰ、次の漢字に振り仮名をつけなさい。(10点)

- ①撤廃 ( )    ②真紅 ( )    ③便乗 ( )    ④無謀 ( )  
 ⑤出納 ( )    ⑥雑木 ( )    ⑦日和 ( )    ⑧融通 ( )  
 ⑨成就 ( )    ⑩強情 ( )

問題Ⅱ、次の漢字の読み方を書きなさい。(6点)

- 1、子どもを背負う    2、身体の发育がよい    3、部屋を飾る  
     試合に負ける         発作が起きる         装飾品を売る  
 4、優しい態度で人に接する    5、本を著す    6、平均寿命が伸びる  
     彼は優れた成績で卒業する         著しい変化         人命を尊重する

問題Ⅲ、次の外来語の意味を説明しなさい。(10点)

- ア、ハンディ ( )    イ、バリアー ( )    ウ、パーフェクト ( )  
 エ、ノウハウ ( )    オ、ディベート ( )    カ、ターゲット ( )  
 キ、セーブ ( )    ク、コネ ( )    ケ、クレーム ( )  
 コ、エレガント ( )

問題Ⅳ、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(30点)

児童が客観的に存在していることは誰にとっても自明のように見える。(ア)、われわれが見ているような「児童」はごく近年に発見され形成されたものでしかない。例えば、われわれにとって風景は眼前に疑いなく存在する。しかし、それが「風景」として見出されたのは、明治20年代に、それまでの外界を拒絶するような「内面性」をもった文学者によってである。それ以降、「風景」は(イ)客観的に存在し、それを写すことがリアリズムであるかのようにみなされる。あるいは、人はさらに「真の風景」をとらえようとする。しかし、そのような「風景」はかつては存在しなかったものであり、それは一つの転倒のなかで発見されたのである。

まったく同じことが「児童」についていえる。(a)「児童」とは一つの「風景」なのだ。それははじめからそうだったし、現在もそうである。したがって、小川未明の



ようなロマン派的文学者によって「児童」見出されたことは奇異でも不当でもない。  
 (ウ) 最も倒錯しているのは「真の子ども」などという観念なのである。「明治以来の作家たちの多くが、おとなの立場から発想し、子どもの側に立って発想してこなかったことこそ、おそらく日本児童文学の最大の特色であろう」というのは、明らかに間違っている。第一に、それは日本児童文学の特色ではなく、西欧においても「児童」はそのようにして見出されたのである。第二に、もっと重要なことだが、児童文学が見出されるためには、まず「文学」が見出さねばならなかったのであって、日本における児童文学の確立がおくれたのは、「文学」の確立がおくれたからにすぎない。しかし、私がこれまで一連の論考で問題にしてきたのは、このおくれではなく、また西欧文学との差異でもなくて、西欧においては長期にわたるために(カ) 隠蔽される日本においてはほぼ明治 20 年代に集中的に検証しうる、「文学」という制度の問題なのである。

(b)小川末明や(c)鈴木三重らによって確立された「児童文学」が「文学」より 10 年あまりおくられているのは、不思議ではない。児童文学を孤立的に取りだして、それを歴史的な連続性においてみるのが間違っているのだ。同時代にすでに西欧で児童文学が発達していたからといって、それと比較するのは馬鹿げている。たとえ彼らがどんなに西欧の児童文学を読み、その影響を受けていたとしても、日本の児童文学が「影響」からただちに出てくることなどありはしなかったと判断できる。それは「文学」の形成過程からみて明白である。(エ)、ロシア文学に震撼されていた二葉亭四迷は『浮雲』第一編においてなかば人情本や馬琴の文体におし流されざるをえなかった。彼がすでにどんなに「内面的」であったとしても、いわば(d) 手がそれを裏切るのだ。(オ)、表現されるべき「内面」や「自己」がアプリアリにあるのではなく、それは「言文一致」とは、言を文に写すことではなく、(e) もう一つの文語の創出にほかならなかった。したがって、たんに口語的に書く山田美妙や(f) 二葉亭四迷の初期の実験は、(g) 森鷗外の『舞姫』 (明治 23 年) が登場するやいなや、たちきえるほかなかった。

(柄谷行人『日本近代文学の起源』より)

問 1、括弧ア～オにあてはまる言葉を選びなさい。

つまり      むしろ      しかし      あたかも      たとえば

問 2、下線部カ、キの漢字にあてはまる平仮名を選びなさい。

カ、おおいかく      いんとく      いんぺい      おんぺい      おんとく

キ、しんかん      しんけん      のめりこま      ふるえうご      せっけん

問 3、下線部(a)はどういう意味か選びなさい。

- 1、子どもは客観的な存在なのだ。
- 2、子どもは一枚の写真のようなものだ。
- 3、子どもは人格を持たない風景のようなものだ。



4、子どもは発見されることではじめて存在するものだ。

5、子どもは大人にとって背景なのだ。

問4、下線部(d)はどういう意味か選びなさい。

- 1、頭で判っていても心の誘惑に勝てないこと。
- 2、長年熟練した手が考えなくても勝手に動くこと。
- 3、生活体験が人間の意識を超えて現れること。
- 5、手が反射的に動いて後で後悔すること。
- 6、行動が理論を裏切ってしまうこと。

問5、下線部(e)はどういう意味か、選びなさい。

- 1、「言文一致」の運動が新しい文語文を生んだということ。
- 2、「言語一致」とはもう一つの文章語であるということ。
- 3、「言文一致」にははじめから限界があるということ。
- 4、「言文一致」が別に新しいものを生み出してないということ。
- 5、「言文一致」は解釈によって様々の受け取り方があるということ。

問6、本文中に出てくる山田美妙や二葉亭四迷が関わった言文一致運動の先駆者をもう一人選びなさい。

夏目漱石    芥川竜之介    永井荷風    尾崎紅葉    有島武郎

問7、下線部(b)、(c)、(f)、(g)の作品をそれぞれ選びなさい。

(b)、銀河鉄道の夜    赤い蠟燭と人魚    ごんぎつね    泣いた赤鬼  
風の中の子ども

(c)、刺青    忘れ得ぬ人々    あらくれ    千鳥    子を貸し屋

(f)、歯車    野火    雪国    すみだ川    平凡

(g)、青年    或る女    友情    人間失格    坑夫

問題V、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(30点)

「夢殿の救世観音を見ていると、その作者というような事は全く浮かんで来ない。それは作者というものから、それが完全に遊離した存在になっているからで、これは又別格なことである。文芸の上で若し私にそんな仕事でも出来ることがあったら私は勿論それに自分の名などは冠せようとは思わないであろう」

これは志賀直哉氏が昭和3年の創作集の為に書いた序言であるが、(A)理論の究極が、これ程美しい言葉で要約されたことはかつてなかったのである。氏が今後「自分の名など冠せようとは思わぬ」作品を書くかどうかはここでは重要な事ではない。それよりもこのような境地に到達した後の氏の久しい沈黙は何を意味するのか。

花袋が  
かつ堂々  
まま創作  
が夢殿観  
された日  
実生活を  
分の沈黙  
と手近か  
己れの  
るものは  
ぬ」と。し  
ある。僕は  
は24歳の  
ているが、  
まま創作の  
た事がなか  
むろん志  
のだが、わ  
危機に近づ  
た作家だか  
危機に出会  
ち込む事に  
作によって  
に物を言わ  
を得んとし  
大正時代  
た反抗は人  
種種雑多で

問1、志賀直  
ア、無  
オ、二  
問2、空欄  
ア、道  
エ、大



花袋がモオバッサンに、日常実生活の尊敬を学んで以来、志賀直哉氏ほどに、強烈にかつ堂々と己れの日常生活の芸術化を実行した人はない。氏ほど日常生活の理論がそのまま創作上の理論である（ A ）の道を潔癖に一途にたどった作家はいなかった。氏が夢殿観音を前にして感慨に耽る時、氏の仕事は行く所まで行きついたのである。純化された日常生活は、かつて孕んでいたその危機や問題を解消してしまった。氏は自分の実生活を相手にはや為す事はない、為す必要がない。この作者の沈黙の底には作者が自分の沈黙をどのように解釈しているにせよ、実生活をしゃぶり尽くした人間の（ B ）と手近かに表現の材料を失った小説家の苦痛が横たわっているはずである。

己れの作品に作者の名を冠せまいとは、またフロオベルの覚悟であった。「芸術家たるものは、彼はこの世に生存しなかった人だと後世に思わせる様に身を処さねばならぬ」と。しかし彼が「不幸を逃れる唯一つの道は、芸術に立籠り他は一切無と観ずるにある。僕は富貴にも恋にも未練がない。僕は実際生活と決定的に離別した」と書いたのは24歳の時である。志賀氏の場合は、フロオベルの場合といかにも奇妙な対比を示しているが、又この対比があつたればこそ、実生活上の危機を救おうとする希いが、そのまま創作の（ C ）となり得、しかもこれがために作品の完璧性がいささかも損われた事がなかったという無類な（ A ）の実現をみたのである。

むろん志賀氏の場合は極端な例で、氏の潔癖が作家道における危機を露骨にしているのだが、わが国の（ A ）の誕生に際して播かれた種は、成熟するにつれてこの様な危機に近づかなければならなかった。志賀氏の場合に顕著なのは、氏が一途に成熟させた作家だからに過ぎぬので、自然主義の洗礼によって仕事を始めた作家達は、みなこの危機に出会いそれぞれの始末を強いられている。（ 1 ）氏の様に歴史物に心魂を打ち込む事によって危機を征服している人もあり、（ 2 ）氏の様に感想的批評文の制作によって危機を横目ににらんでいる人もあり、又（ 3 ）氏の様に、異常な生活力に物を言わせて、実生活の赴くがままにまかせることにより、かえって自在な制作態度を得んとしている。

大正時代、多くの作家達が、さまざまな角度から明治以来の（ A ）に対してあげた反抗は人のよく知る所である。白樺派、新思潮派、早稲田派、三田派、と反抗の声は種種雑多であったが、従来の（ A ）の決定的な否定の声は何所にも聞かれなかった。

（小林秀雄の文章による）

問1、志賀直哉の作品を選びなさい。

- ア、無明長夜    イ、あらくれ    ウ、泥人形    エ、万暦赤絵  
オ、子をつれて

問2、空欄Aを共通して埋めるものを選びなさい。

- ア、通俗小説    イ、社会主義小説    ウ、理想主義小説  
エ、大河小説    オ、私小説    カ、浪漫主義小説



問3、空欄Bを埋めるものを選びなさい。

- ア、融和    イ、願望    ウ、静謐    エ、動揺  
オ、苦悩    カ、凡庸    キ、醇厚

問4、空欄Cを埋めるものを選びなさい。

- ア、カテゴリー    イ、ブ・ナロード    ウ、プロット    エ、モットー  
オ、スタンザ    カ、モチーフ    キ、レトリック

問5、空欄1～3を埋めるのに適当な作家を選びなさい。

- ア、徳田秋声    イ、谷崎潤一郎    ウ、島崎藤村    エ、森鷗外  
オ、正宗白鳥    カ、夏目漱石

問6、三田派に属する代表的な作家を選びなさい。

- ア、島崎藤村    イ、永井荷風    ウ、武者小路実篤    エ、芥川竜之介  
オ、田山花袋

問7、三田派に属する代表的な作家を選びなさい。

- ア、志賀直哉は、日常生活の危機や問題を創作活動を通じて純化して行ったが、そのことにより作家としての危機に厳しく対した。  
イ、志賀直哉は、実生活上の危機を救おうとして、フロオベルと同様の仕方で、創作に打ち込んだ。  
ウ、志賀直哉は、フロオベルと奇妙な対比を示して、日常生活に関して久しい沈黙を守り、作家としての危機を解消した。  
エ、志賀直哉は、日常生活とのかかわりを断ち切った所で、小説家の苦痛を描き出した。

問題VI、次の文を読んで、後の問いに答えなさい。(14点)

1、米騒動とはなんですか。

2、「小説神髓」で、文学に独自の芸術としてどんな意義を主張しましたか。それは誰ですか。

3、石川啄木は短歌集「一握の砂」でどんな歌を発表しましたか。これと同じ作品を一つあげてください。